

都市再生整備計画 事後評価シート

亀岡駅北周辺地区(2期)

令和6年3月

京都府亀岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府		市町村名	亀岡市		地区名	亀岡駅北周辺地区(2期)				面積	約17.2ha			
交付期間	平成30～34年度(令和4年度)		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	867.0	国費率	0.478						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	(都)亀岡駅北1号公園ほか整備、亀岡駅北駐輪場整備、駅前広場修景整備												
		提案事業	なし												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	1級河川曾我谷川右岸堤防道路修景整備				河川改修との調整による事業見直し				影響はない				
		提案事業	まちなみ・まちづくり計画策定				亀岡駅北土地区画整理事業内で策定				影響はない				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし												
		提案事業	防犯カメラ・案内標識設置 亀岡駅北周辺地区事業効果分析				必要性の高まりに対応				数値変更までの影響はない				
	交付期間の変更	当初	平成30～33年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	公園等の整備充実により、「公園の年間利用者」および「駅前にぎわい広場の年間利用者数」の目標値を上方修正									
	変更	平成30～34年度(令和4年度)													
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		指標1	亀岡駅利用者数(乗降客数)	千人/年	6,500	H29	6,600	R4		モニタリング	評価値	5,799	×	あり なし	駅前広場や駐輪場整備により、JR亀岡駅の利便性が向上した。さらに、サンガスタジアムbyKYOCERAの開業により、JR亀岡駅を利用する機会が創出されたことで、利用者増の効果が見込まれた。しかしながら、コロナ禍の影響により目標を達成するには至らなかった。
指標2		地区内人口	人	0	H29	250	R4				391	○	あり なし	事業前は非居住地であったが、亀岡駅北土地区画整理事業をはじめ、駅前広場や公園等の整備により、地区内人口は着実に確保された。	なし
指標3		本地区でのまちづくり等に關する活動団体数	団体	0	H29	2	R4				3	○	あり なし	公園・広場が整備されたことで質の高い生活環境が構築され、その環境を維持・向上するためのまちづくり活動が着実に実施された。また、サンガスタジアムby KYOCERA整備に伴う交流人口の大幅な増加と亀岡駅北土地区画整理事業による人口の定着に伴い、まちづくり活動が着実に実施された。	なし
指標4		駅前にぎわい広場の年間利用者数	人	0	H29	2,500	R4				2,600	○	あり なし	駅前にぎわい広場の整備と併せた駅前広場の修景整備を行ったことで、地域の魅力向上につながり、駅前にぎわい広場の利用者が着実に確保された。さらに、サンガスタジアムbyKYOCERA整備により、交流人口が大幅に増加し、利用者の確保につながった。	なし
指標5		公園の年間利用者	人	0	H29	2,090	R4				2,379	○	あり なし	公園整備に伴うフットサル場やスケートパークの確保により、交流人口の大幅な増加等により公園の利用が着実に確保された。さらに、サンガスタジアムbyKYOCERA整備により、交流人口が大幅に増加し、利用者の確保につながった。	なし
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		その他の数値指標1	JR亀岡駅北口自転車等駐輪場利用率	%	55.0	H30	—	—				92.0	○	亀岡駅北駐輪場整備と駅前広場整備および亀岡駅北側の総合的な市街地整備等により、北口自転車等駐輪場の利用率は着実に向上し、亀岡駅の利便性向上・利用者増に寄与したと評価する。	なし
		その他の数値指標2													
		その他の数値指標3													
		その他の数値指標4													
4)定性的な効果発現状況															
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	案内板、樹木、ベンチ、時計台の寄付					都市再生整備計画に記載し、実施できた								
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● 地元参加による樹木等の維持管理を検討				
持続的なまちづくり体制の構築	継続的なまちづくり活動を進める団体を形成					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				● まちづくり団体を中心とした本地区のエリアマネジメントの可能性を検討					
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

亀岡駅北周辺地区(2期)「京都市亀岡市」都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 「水と緑が調和する賑わいもてなしの新たな亀岡の顔づくり」 目標1 亀岡の魅力を実感できる「行ってみたい」まちづくり 目標2 自然・景観の素晴らしさと駅前の利便性の高さをいかした「住みたい」まちづくり 目標3 賑わいもてなしを支える「ふれあい・助け合い」のあるまちづくり		亀岡駅利用者数(乗降客数)	千人/年	6,500	H29	6,600	R4	5,799	R4
		地区内人口	人	0	H29	250	R4	391	R5
		本地区でのまちづくり等に関する活動団体数	団体	0	H29	2	R4	3	R5
		駅前にぎわい広場の年間利用者数	人	0	H29	2,500	R4	2,600	R5
		公園の年間利用者	人	0	H29	2,090	R4	2,379	R5
まちの課題の変化	事業前の課題			達成された課題及び残された課題					
	〇亀岡駅南側市街地と一体的な賑わいのある市街地の形成			・にぎわい広場等の整備より駅北側の滞留が促進されたことで、南側市街地の賑わいが創出された。 ・サンガスタジアムbyKYOCERAの開設による交流人口の大幅な増加により、南側を含めた市街地全体の賑わいが創出された。 ・JR亀岡駅の利用者数の向上を継続的に図る必要がある。 ・JR亀岡駅の北側における土地利用の促進を図るとともに、南側の整備を進め、更なる一体的な市街地形成が必要である。					
	〇交流の促進と定住人口の適正な確保			・土地区画整理事業の実施により定住人口が着実に確保された。 ・にぎわい広場や公園整備などによりまちづくり活動等が生まれ、交流の促進が図られた。					
	〇亀岡らしい眺望の保全と観光客をもてなす景観の充実			・駅前広場や道路の修景整備や公園・広場整備により、魅力ある景観形成が図られ、公園広場等の利用者確保に繋がっている。					
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	〇賑わいの継続的確保			・整備済みの公園・広場などの継続的な維持・管理と施設活用の促進					
	〇地域定住の維持・充実			・定住にふさわしい利便性と環境の維持・充実					
	〇まちづくり活動等の維持・充実			・まちづくり活動等の促進支援、活動の場となる公園・広場の活用利便性の維持・充実					
	〇魅力ある景観の維持・充実			・整備済みの修景施設等の継続的な維持・管理					
	〇JR亀岡駅の利用者数の向上			・JR亀岡駅の利便性の維持・向上、鉄道(公共交通機関)の利用促進					